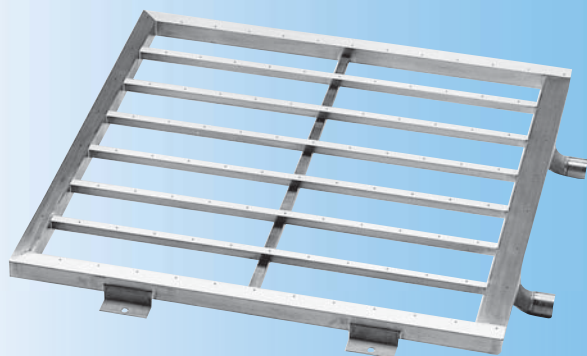
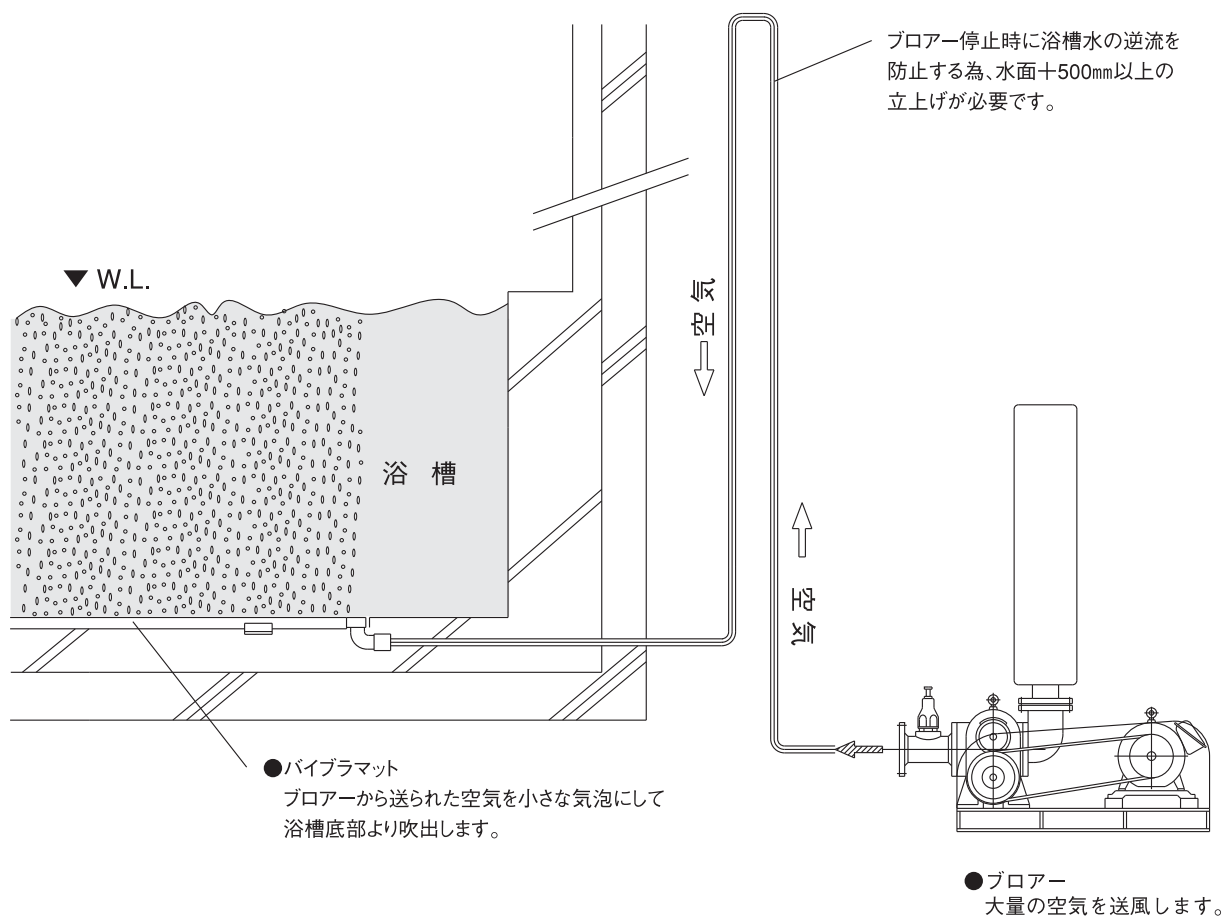


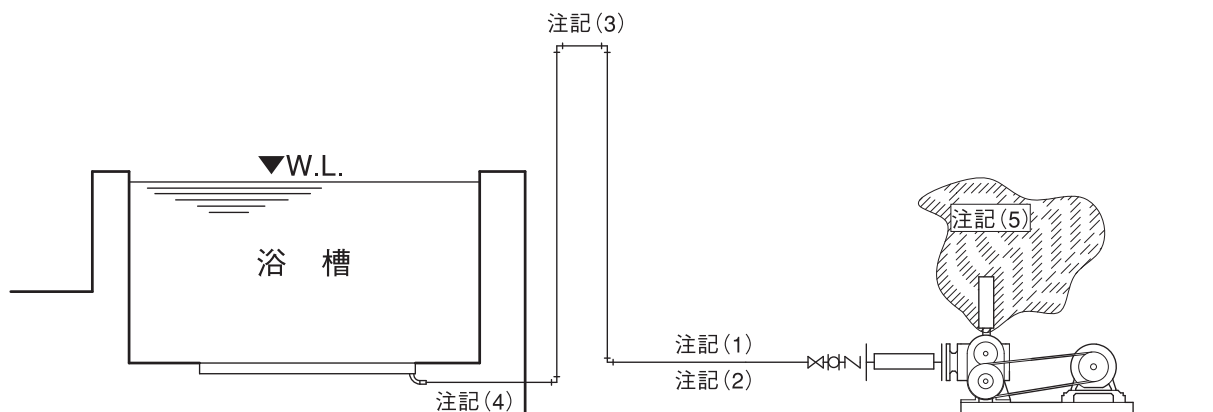


バイブラマット 施工・取扱説明書

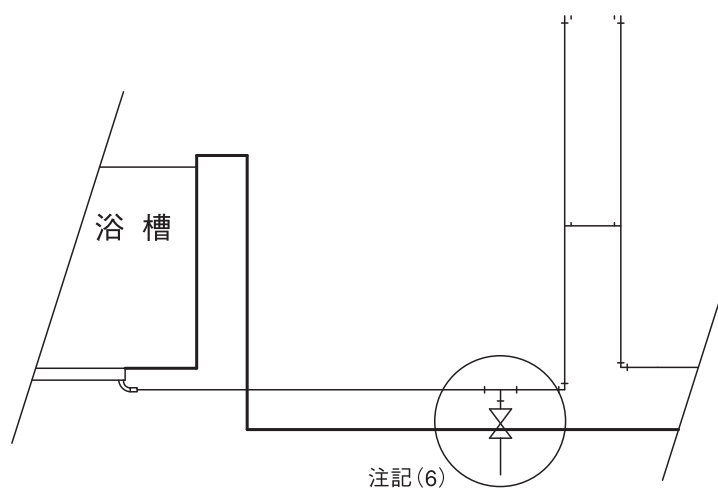
バイブラバス システムの解説



バイブラバスシステムの施工説明

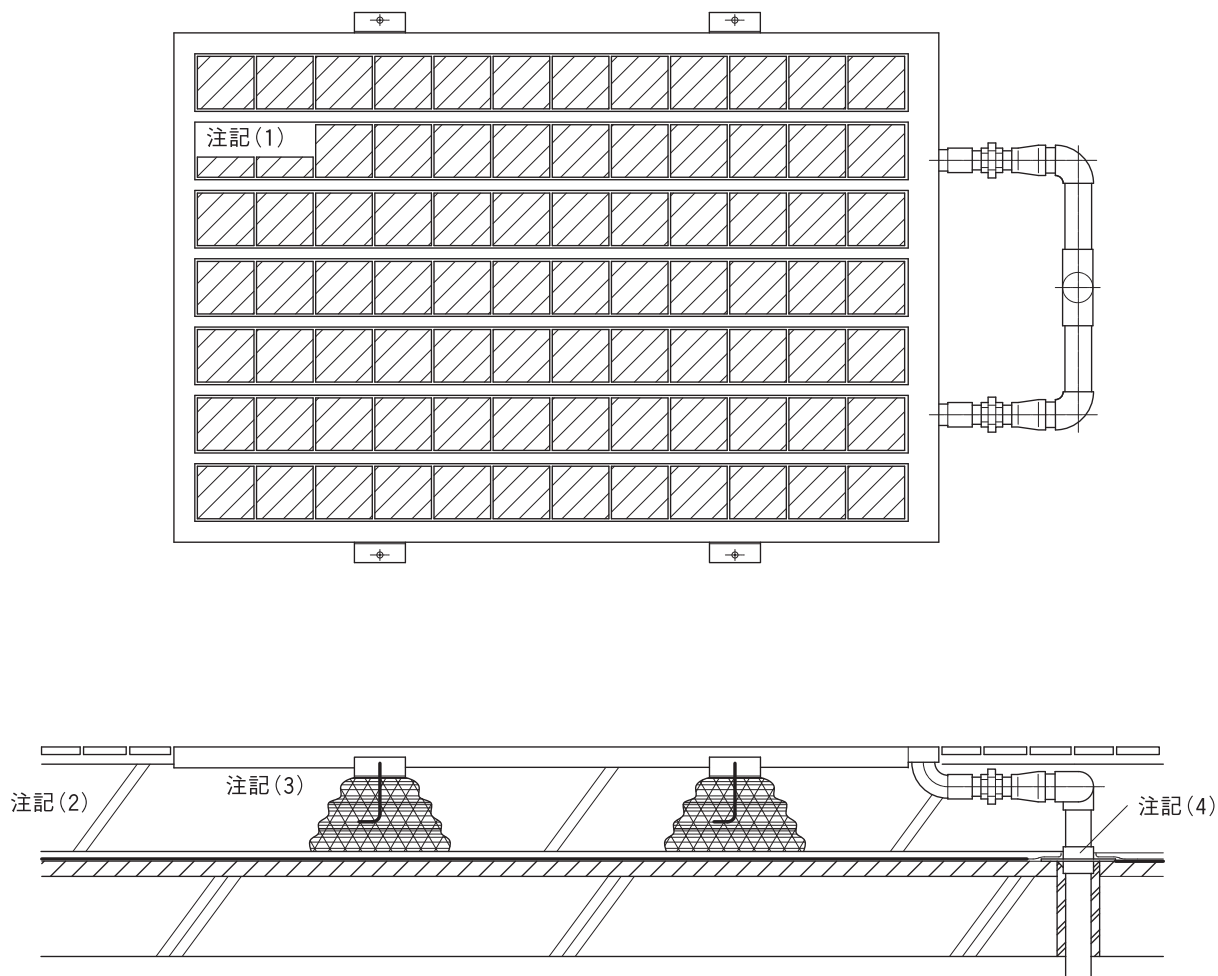


- 注記(1) 配管は接続口径以下には絶対に絞らないで下さい。
- 注記(2) 配管の材質は立ち上がり迄をSUS管・銅管類とし、それ以降はSUS管・HTVP管を使用して下さい。(圧搾により空気温度が上昇します)
- 注記(3) 可能な限り浴槽に近い位置でWL+500以上の鳥居配管を行って下さい。
- 注記(4) 配管の最深部はWL-1000以内で、立ち上げ迄の距離は概ね5M迄で計画して下さい。
※ブロー能力により違いがありますのでご注意下さい。
- 注記(5) 浴槽にはブロー設置場所の周囲の空気を吸引して送気しますので、高温…多湿及び埃の多い場所への機器の設置は避けて下さい。



- 注記(6) 過酸化水素水などの薬液を使用して循環配管洗浄を行った場合、同一にバイブラマット及び空気配管の水没部も洗浄範囲となりますので配管の最深部で排水弁を設けて下さい。

施 工 方 法



- 注記 (1) バイブラマットの角パイプの間にタイル貼りを行って下さい。
マット表面とタイル天端に段差が付きますと入浴者に不快感を与えますので注意して下さい。
- 注記 (2) シンダーコンクリート他の防水層上部の厚みは配管所要寸法を事前にチェックし施工可能な寸法として下さい。
- 注記 (3) バイブラマットはアンカーボルトで固定して下さい。
- 注記 (4) エアー配管の防水層貫通部は別売りの防水皿を使用して下さい。